



Ver 2.71

## &lt; 目次 &gt;

<b>DataDive! について</b>	1
<b>DataDive! の仕組み</b>	1
「専用モードについて」	2
「プライベートモードについて」	2
「フリーモードについて」	3
<b>初回起動時のご注意</b>	4
<b>DataDive! の操作</b>	5
「専用モード」	5
ダウンロード済みデータ 表示/非表示	7
検 索	8
データリスト再取り込み	9
データリスト更新	11
ログ表示	12
プライベートモード	13
フリーモード	14
選択オールクリア	15
情報表示	16
データ取り込み	17
環境設定	20
テキストファイル拡張子 設定	22
アバウト表示	24
登 録	25
「プライベートモード」	26
検 索	27
サーバセット編集	28

リスト更新	30
ログ表示	31
クローズ	32
全選択	33
選択オールクリア	34
データ取り込み	35
ファイル削除	38
☰ 「フリーモード」	41
ソート	42
検索	43
スキャンメモリ	44
ログ表示	45
クローズ	46
選択オールクリア	47
アップロード名変更	48
情報表示	50
カテゴリー括変更	51
データアップロード	54
データダウンロード	60
● 付録	63

### DataDive! について

DataDive! は Palm/WorkPad をインターネットに接続し、サーバから Palm 形式のデータをダウンロードして Palm/WorkPad に直接取り込むアプリケーションです。

Palm OS 2.0 以上で動作します。

ご使用に際しては、Palm/WorkPad 用モデム、SnapConnect 等の通信環境が必要です。

DataDive! は シェアウェアです。7日間の試用が可能です。

シェアフィーはベクターのサイトでオンラインでお支払い頂けます。

シェアレジ番号：SR013691

こちらの[リンク](#)からお願いします。

ご登録いただくと、後日 E-Mail で登録コードが送付されます。

### DataDive! の仕組み

DataDive! には、以下のモードがあります。

#### 専用モード：

専用サーバを利用するモード。

起動時はこのモードです。

#### プライベートモード：

ご自分で用意したFTPサーバを利用するモード。

プロバイダと契約している方は、ホームページ用スペースを利用することが可能です。

サーバ名、ディレクトリ名等を指定する必要があるのである程度の知識が必要になります。

(自己責任でご使用ください。)

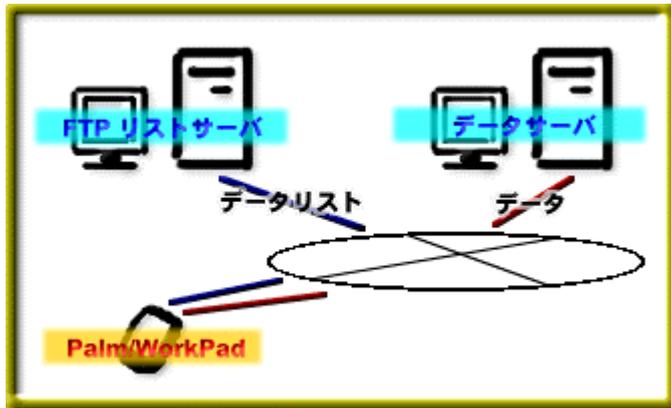
#### フリーモード：

任意のサーバを利用するモード。

サーバ名、ディレクトリ名等を指定する必要があるのである程度の知識が必要になります。

(自己責任でご使用ください。)

## 「専用モードについて」



### FTP リストサーバ :

ダウンロード可能ファイルのリストを一元管理するFTPサーバ

### データサーバ :

実際にデータを保存しているFTP、HTTPサーバ

(複数サーバの場合もあります。)

### Palm/WorkPad :

ご使用のPalm/WorkPad

### データリスト :

ダウンロード可能ファイルのリスト

### データ :

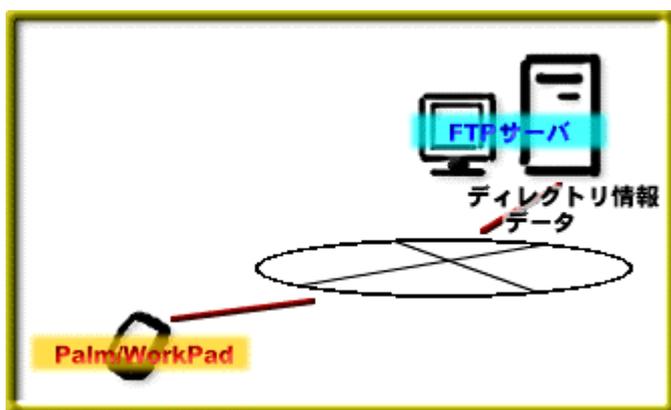
ダウンロード対象データ

Palm/WorkPad をインターネットに接続し、FTP リストサーバからデータリストを取り込みます。データリストは更新される可能性があるため、最新のデータリストが必要な場合は取り込み作業を行う必要があります。

(ユーザ登録された方にはデータリストが更新された場合 E-Mail でその旨お知らせいたします。) 一度データリストを取り込めば、データリストを更新する場合以外はFTP リストサーバへ接続する事はありません。

データリストを取り込むとダウンロード可能ファイルがリスト表示されるので、ダウンロードしたいファイルを選択してデータサーバからデータをダウンロードすることが出来るようになります。

## 「プライベートモードについて」



### FTP サーバ :

データを保存しているFTPサーバ  
(複数サーバに対応しています。)

### Palm/WorkPad :

ご使用のPalm/WorkPad

### ディレクトリ情報 :

FTPサーバのディレクトリ情報

### データ :

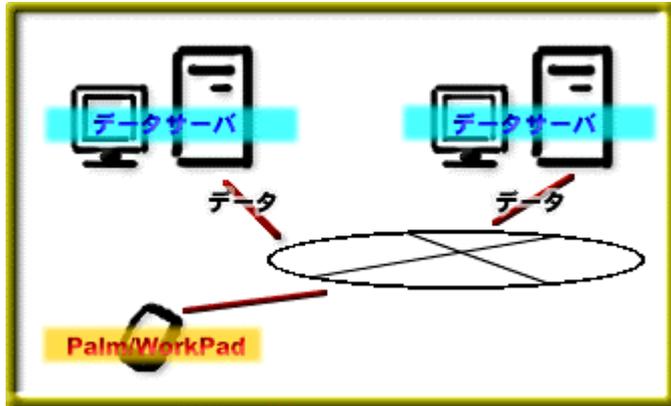
ダウンロード対象データ

Palm/WorkPad をインターネットに接続し、FTP サーバのディレクトリ情報からリストを作成します。リストからダウンロードしたいファイルを選択してFTP サーバからデータをダウンロードします。

Palm 形式以外のデータに関しては動作保証しません。

ただし、テキストファイルを Doc 形式に変換してダウンロードすることも出来ます。

## ☎ 「フリーモードについて」

**データサーバ：**

データを取得、保存するサーバ  
ダウンロードには FTP、HTTPサーバが  
ご利用いただけます。  
アップロードには FTP サーバがご利用  
いただけます。

**Palm/WorkPad：**

ご使用のPalm/WorkPad

**データ：**

ダウンロード、アップロード対象データ

Palm/WorkPad をインターネットに接続し、指定した**データサーバ**から **Palm 形式のデータ**をダウンロード、あるいは**データサーバ**へ**Palm 形式のデータ**をアップロードします。アップロード時にパーミッションを指定する事も可能です。

Palm 形式以外の**データ**に関しては**動作保証しません**。

ただし、**Doc 形式のデータ**はテキストファイルに変換してアップロード出来ます。

また、**テキストファイル**を **Doc 形式**に変換してダウンロードすることも出来ます。

**データサーバ**の情報は保存する事が出来ます。

**初回起動時のご注意**

インターネットへの**接続準備を整えてから**DataDive!を起動してください。  
初回起動時に**データリスト**を取り込むかどうかの確認メッセージが表示されるので、「Now」ボタンをタップして下さい。インターネットに接続して**データリスト**を取り込みます。インターネットへの**接続準備が出来ていない場合は**「Later」ボタンをタップし一度DataDive!を終了して準備を整えた後で再度起動し取り込み作業を行ってください。（**データリスト**取り込みには**数分**かかります。）  
下図参照。



FTP リストサーバへ接続せず  
データリスト取込みを行いません。  
インターネットへの接続準備が出来ていない場合は  
「Later」をタップして下さい。

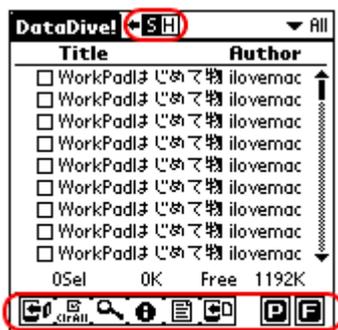
FTP リストサーバへ接続し  
データリストの取込みを開始します。  
インターネットへの接続準備が出来ている場合は  
「Now」をタップして下さい。

**DataDive! の操作**

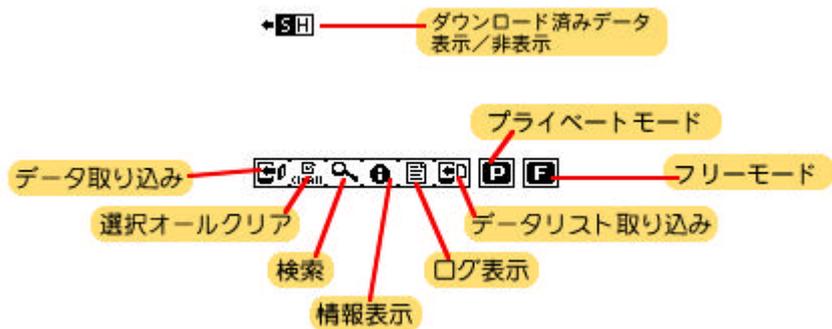
DataDive! の基本的な操作は、下部のツールボタンで行うことができます。  
 環境設定などの普段は使用しない機能はメニューから操作できます。  
 メニューアイテムの多くはショートカットが割り当てられており、Graffiti から  
 直接コマンドを実行することが可能です。

「専用モード」

**ツールボタンで可能な操作**



ツールボタン



**Listメニューで可能な操作**



**Selectメニューで可能な操作**



## Optionsメニューで可能な操作



ダウンロード済みデータ  
表示/非表示

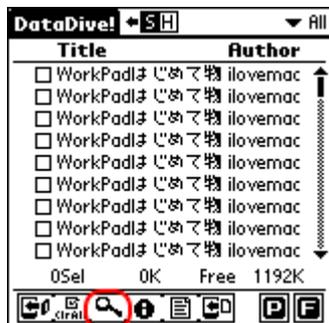


「S」「H」プッシュボタンでダウンロードした事があるデータの表示/非表示の切り替えが行えます。ダウンロードしたことがあるデータも表示するには「S」を選択状態にします。(規定値)



ダウンロードしたことがあるデータを非表示にするには「H」を選択状態にします。

## 検索



データはタイトルあるいは作者で検索することができます。  
現在のカテゴリ内で検索します。

「検索」ボタンをタップして、検索ダイアログを表示します。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



タイトルで検索したい場合は「Title」ボタンを、作者で検索したい場合は「Author」ボタンを選択(反転)状態にします。

リストの表示・選択状態に関係無く先頭から検索したい場合は

「Search from top of list」にチェックを付けます。

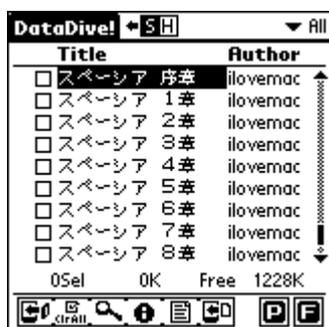
このチェックを外すと、選択状態の(タイトル、作者が反転状態になっている)データがある場合は選択されているデータより後ろを、選択状態のデータが無い場合は表示されている先頭から検索します。

検索文字列を入力して「Find」ボタンをタップします。

大文字、小文字の区別は**されません**。

検索文字列フィールドはクリップボードに対応しています。

(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)



データが見つかった場合は、タイトルで検索した場合はタイトルが、  
作者で検索した場合は作者が反転表示されます。



データが見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。

## データリスト再取り込み



「List」/「ReloadList」を選択すると、FTP リストサーバから全てのリストデータを再取得します。データリスト更新の途中で回線が切断された事等が原因でデータリストの内容がおかしくなった時に利用します。データリストを取得するためには、データリストのサイズ分の空きメモリが必要です。  
(この作業は**数分**かかります。)



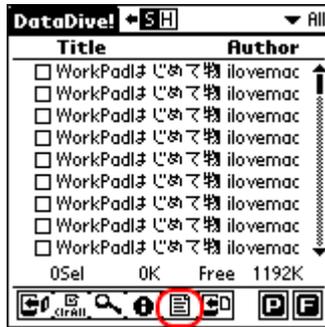
セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。まず、ベースになるリストデータをダウンロードします。セッション中に「Cancel」ボタンをタップするとデータリスト取り込みがキャンセルされます。この時点でのキャンセルでは取り込み前にデータリストが Palm/WorkPad 上に存在する場合は取り込み前の状態に戻ります。



続いて、差分データをダウンロードします。この時点でのキャンセルでは取り込み前の状態には**戻りません**。差分データダウンロード後に差分データをベースになるリストデータにマージし、ダウンロード済みかどうかの情報を復元します。ダウンロード済み情報は、タイトルあるいはファイル名変更の更新パターンがあったデータに対しては復元できません。  
([環境設定](#)で「AutoDisconnect.」に設定されている場合は、差分データをダウンロード後に回線を切断しその後マージを開始します。)



[環境設定](#)で「AutoLogDisplay.」に設定されている場合、データリスト取得が終了すると、ログが表示されます。



ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも[ログを表示](#)することが出来ます。  
(この操作はメニューからも行うことも出来ます。)

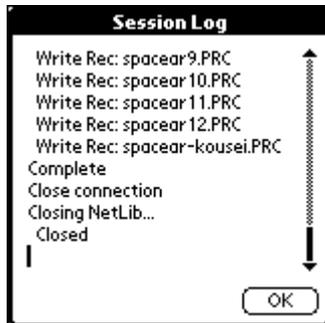
## データリスト更新



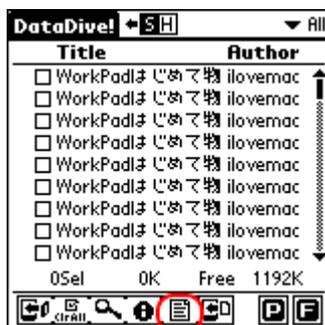
「データリスト取り込み」ボタンをタップすると、FTP リストサーバからデータリストの差分データをダウンロード後マージします。  
 ( [環境設定](#) で「AutoDisconnect.」に設定されている場合は、差分データをダウンロード後に回線を切断しその後マージを開始します。 )  
 一度もデータリスト取得を行っていない場合は、[データリスト再取り込み](#)と同様に差分データだけではなく全てのデータリストデータを取得します。  
 ( この操作はメニューから行うことも出来ます。 )



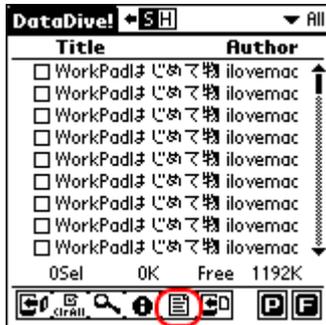
セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。  
 セッション中に「Cancel」ボタンをタップすると差分データ取り込みがキャンセルされます。  
 エラーが起こって正常にリスト更新が終了しなかった場合は次のリスト更新時にはマージが失敗したところから実行されます。  
 何度データリスト更新を行っても失敗する場合やリストの内容がおかしくなった場合は、[データリスト再取り込み](#)を行ってみてください。



[環境設定](#) で「AutoLogDisplay.」に設定されている場合、データリスト取得が終了すると、ログが表示されます。

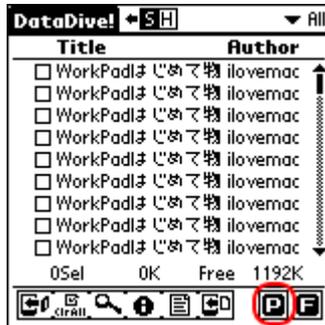


ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも[ログを表示](#)することが出来ます。  
 ( この操作はメニューからも行うことも出来ます。 )

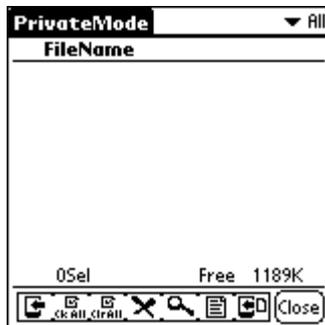
**ログ表示**

ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも表示することができます。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

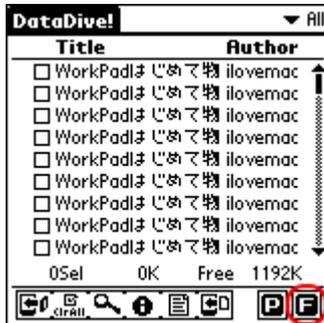


**プライベートモード**

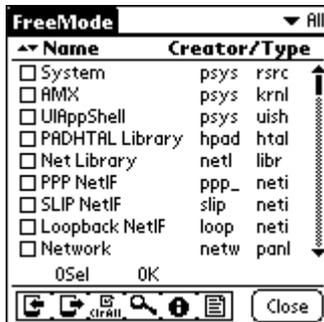
「プライベートモード」ボタンをタップすると  
プライベートモードに移行します。



## フリーモード

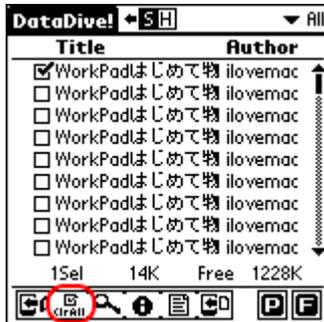


「フリーモード」ボタンをタップするとフリーモードに移行します。



Flash Pro がインストールしてあり使用可能な状態の場合は、データの格納場所によってチェックボックスの左側に以下のマークが付きます。  
 Flash ROM 上 : ⚡  
 Flash ROM + RAM上 : ⚡

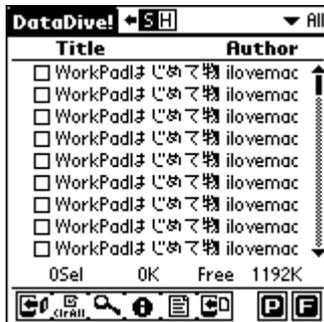
## 選択オールクリア



「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の選択状態をクリアします。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

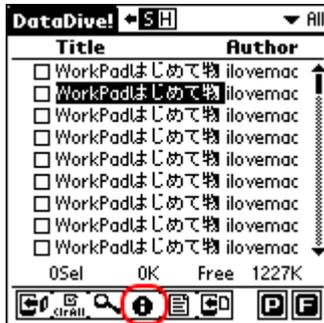


選択クリアの確認アラートボックスが表示されるので、クリアする場合は「Yes」ボタンを、しない場合は「No」ボタンをタップします。



「Yes」ボタンをタップすると全ての選択が解除されます。

## 情報表示



リスト上のタイトルあるいは作者を選択（反転）状態にして「情報表示」ボタンをタップしてデータの情報を表示することが出来ます。

（この操作はメニューから行うことも出来ます。）



## データ取り込み

カテゴリを選択します。  
特にカテゴリを指定しない場合は「All」を選択してください。

カテゴリについて

Unfiled : 他のカテゴリに当てはまらない **Doc、MeDoc 形式**のデータ

Literary : **Doc、MeDoc 形式**の文学作品

SF : **Doc、MeDoc 形式**の SF 作品

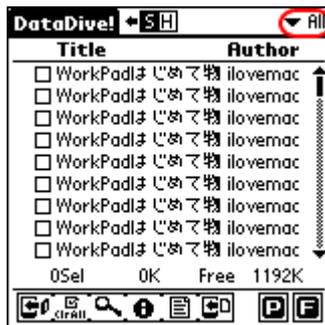
Mystery : **Doc、MeDoc 形式**のミステリー作品

JFile : **JFile 形式**のデータベース

App : アプリケーション

DA : **DA(DeskAccessory)** モジュール

Hack : **Hack** モジュール



ダウンロードしたデータを利用するためには別途アプリケーションが必要な場合があります。以下参照。

Unfiled、Literary、SF、Mystery : **Doc (MeDoc) リーダー**

JFile : **JFile**

DA : **HackMaster** 及び **DA ラウンチャー**

Hack : **HackMaster**



取得したいデータのチェックボックスをタップしてチェックマークを付けます。

別のカテゴリに切り替えても、それまで選択されていたデータの選択状態は保持されます。

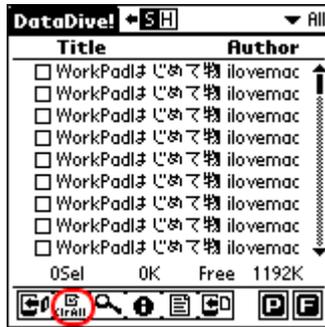
リストの下には、現在選択されているデータ数、選択データの合計サイズ、メモリ空き容量が表示されています。

参考にして下さい。

(空き容量は現在の状態なのでリストの選択状態を変えてもリアルタイムに変化しません。)



タイトル、作者名がリスト上に表示しきれないものはタップすることで表示することができます。



「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の[選択状態をクリア](#)します。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



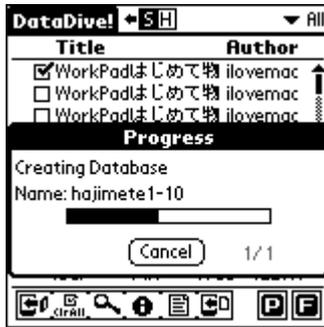
データはタイトルあるいは作者で[検索する](#)ことが出来ます。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



リスト上のタイトルあるいは作者を選択（反転）状態にして「情報表示」ボタンをタップしてデータの[情報を表示する](#)ことが出来ます。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



「データ取得」ボタンをタップして選択したデータをダウンロードします。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。

「Cancel」ボタンの横には、[現在のデータ]/[全ダウンロードデータ数]が表示されます。

エラーが発生した場合には、エラーデータ数も表示されます。

セッション中に「Cancel」ボタンをタップするとデータ取得がキャンセルされます。取得前に同名データが Palm/WorkPad 上に存在する場合は、取得前の状態に戻ります。

(キャンセルしたときにダウンロード中のデータのみ。)



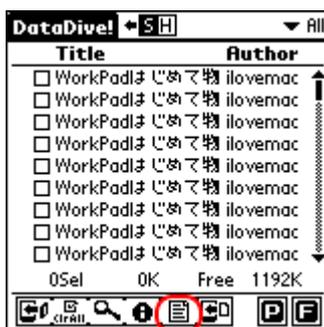
環境設定で「AutoLogDisplay.」に設定されている場合、データの取得が終了するとログが表示されます。



取得したデータの左には矢印が表示されます。

カラーデバイスの場合は赤いテキストで表示されます。

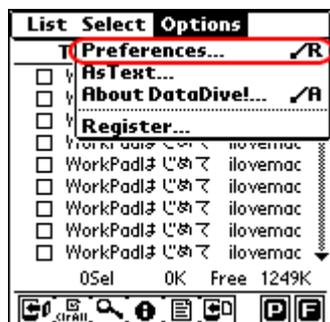
取得状態は保存されます。



ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでもログを表示することが出来ます。

(この操作はメニューからも行うことも出来ます。)

## 環境設定



「Option」 / 「Preferences...」メニューを選択し  
「Preferences」ダイアログを表示します。

### General Setting

全体設定です。

セッション終了時のログ表示、回線自動切断の設定を行います。

「AutoLogDisplay.」は、セッション終了時にログを表示するかどうかの設定です。

チェックマークを付けると、データ取得やデータリスト取得終了時にログが表示されます。（規定値はアンチェック）

「AutoDisconnect.」は、セッション終了時に回線を切断するかどうかの設定です。

チェックマークを付けると、データ取得やデータリスト取得終了時に回線が切断されます。（規定値）

Char-set は、テキストファイルダウンロード時のキャラクタセットの指定です。

Auto（自動判定）、JIS、SJIS、EUCから選択します。（規定値はAuto）

FTP Connection は、FTPサーバ接続モードの設定です。

「Passive mode」にチェックマークを付けると、Passive mode でデータ転送を行います。

チェックを外すと通常モード（Active mode）でデータ転送を行います。

（Mocha W32 PPP で DataDive! を使用する場合はチェックを付けてください。Mocha W32 PPP に関する質問はお答えできません。また、動作保証するものではありませんので自己責任をお願いします。）



### FreeMode Setting

フリーモードの設定です。

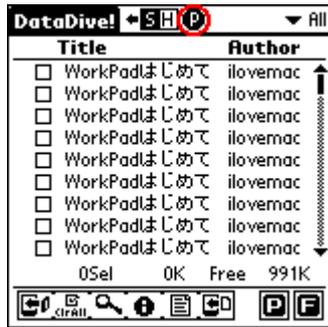
フリーモードではメモリ内容をDBに保存してリスト表示に使用しています。

「AutoMemoryScan.」は、メモリ内容とDB内容が矛盾を起こさないようにするためにメモリスキャンをフリーモードフォームオープン時に行うかどうかの設定です。

チェックマークを付けると、フォームオープン時にスキャンを行います。（規定値）

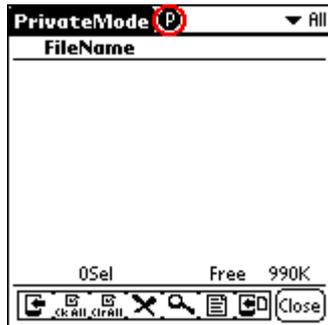
チェックマークを外した場合は、フォームオープン時のスキャンは行わないので適時[手動でメモリ内容とDBとの整合性を取る](#)必要があります。

（規定値のままチェックを外さないことをお勧めします。）



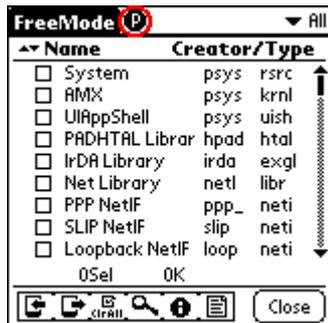
「専用モード」

FTP Connection で「Passive mode」を選択すると、「P」マークが表示されます。



「プライベートモード」

FTP Connection で「Passive mode」を選択すると、「P」マークが表示されます。  
セットで設定したモードに関わらず環境設定のモードにより「P」マークが表示されます。



「フリーモード」

FTP Connection で「Passive mode」を選択すると、「P」マークが表示されます。  
セットで設定したモードに関わらず環境設定のモードにより「P」マークが表示されます。

## テキストファイル拡張子 設定



ダウンロード時にテキストファイルとして認識される拡張子を設定します。  
メニュー「Options」/「AsText...」を選択して「AsText」フォーム  
を表示します。



「Add...」ボタンをタップすると、新たに拡張子を追加できます。



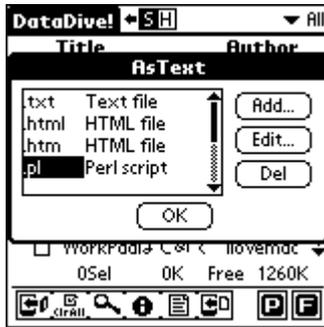
「ExtName:」フィールドに拡張子を「Comment:」フィールドにコメントを  
入力して「OK」ボタンをタップすると拡張子が追加されます。

(コメントは必須ではありません。)

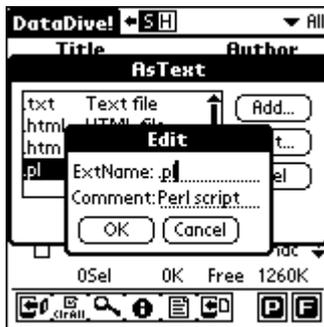
拡張子は**大文字小文字を無視して判定する**ので、どちらで入力しても  
構いません。



追加すると、追加された拡張子が一番上に来るようにスクロールされます。



編集、削除を行いたい場合は拡張子かコメントを選択状態（反転）にして「Edit...」、「Del」ボタンをタップします。ただし、最初からある".txt".html".htm"は**編集、削除出来ません**。カラーデバイスの場合は編集、削除出来ないものは赤いテキストで表示されます。



「Edit...」ボタンをタップすると「Edit」フォームが表示されるので編集します。「OK」ボタンをタップすると編集内容が保存されます。



「Del」ボタンをタップすると、確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンをタップすると選択した拡張子が削除されます。

## アバウト表示



「Options」 / 「Aout DataDive!...」メニューを選択するとアバウトが表示されます。

## 登録

シェアフィーはベクターのサイトでオンラインでお支払い頂けます。

シェアレジ番号：**SR013691**

こちらの[リンク](#)からお願いします。

ご登録いただくと、後日 E-Mail で登録コードが送付されます。



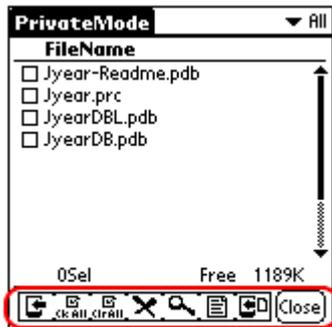
「Option」 / 「Register...」メニューを選択し  
「Registration」ダイアログを表示します。



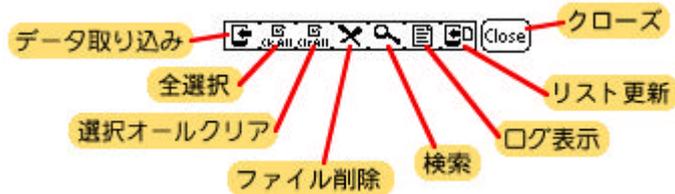
RegName に登録時に入力した登録名を RegCode に Vector から届いた登録コードを入力して「Reg!」ボタンをタップします。各フィールドはクリップボードに対応しています。（「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。）

「プライベートモード」

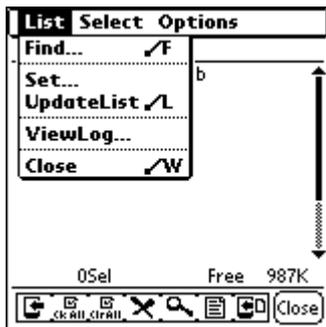
ツールボタン / ボタンで可能な操作



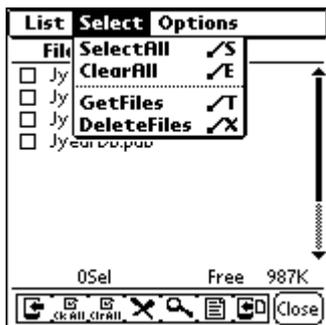
ツールボタン / ボタン



List メニューで可能な操作



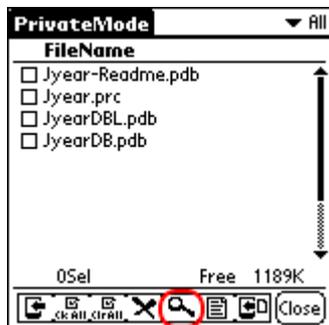
Select メニューで可能な操作



Options メニューで可能な操作



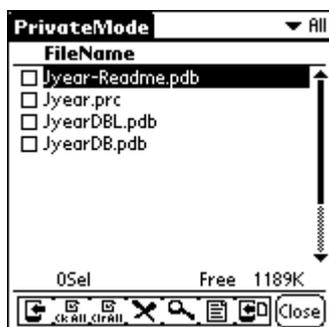
## 検索



「検索」ボタンをタップして、検索ダイアログを表示します。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



リストの選択状態に関係無く先頭から検索したい場合は  
「Search from top of list」にチェックを付けます。  
このチェックを外すと、選択状態の（データ名が反転している）データがある場合は選択されているデータより後ろを、選択状態のデータが無い場合は表示されている先頭から検索します。  
検索文字列を入力して「Find」ボタンをタップします。  
大文字、小文字の区別は**されません**。  
検索文字列フィールドはクリップボードに対応しています。  
(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)

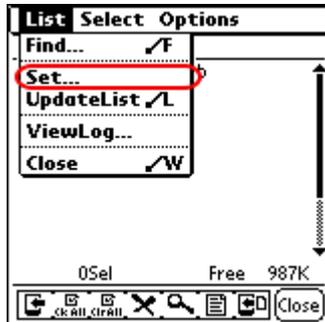


データが見つかった場合は、反転表示されます。



データが見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。

## サーバセット編集



「List」/「Set...」メニューを選択してプライベートモード用サーバセットを編集することが出来ます。  
サーバセットは**最大16個**保存することが出来ます。

FTPサーバ名、ディレクトリ名、ログオンユーザ名を入力します。

**漢字等の2バイトコード文字**は使用できません。

サーバ名には「ftp://」は付けずに**サーバ名のみ**を入力してください。  
サーバ名、ディレクトリ名、ファイル名、ログオンユーザ名フィールドはクリップボードに対応しています。

(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)

パスワードは、トリガーボタンを押すと入力フォームが開きます。

パスワードトリガーボタンはパスワードが設定されてる場合は「-Assigned-」、設定されていない場合は「-Unassigned-」が表示されます。

Connectionトリガーボタンをタップすると設定フォームが開きます。

Connection は、FTPサーバへのデータ転送方法の設定です。

規定値は「UserPreferencesSetting」(環境設定の値を使用する)です。  
この情報はセットとして保存できます。

保存するには「Add...」ボタンをタップします。

保存したセットは「Set」リストから選択できます。

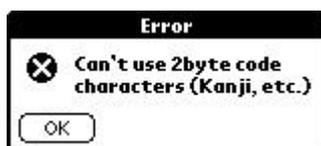
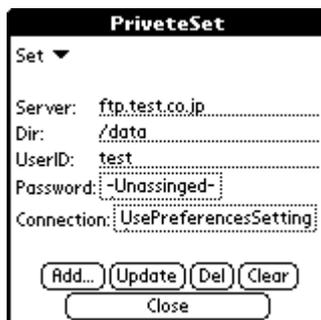
保存済みセットの内容を変更したい場合は、「Set」リストから変更したいセットを選択して項目の内容を変更後「Update」ボタンをタップします。

選択中のセットを削除したい場合は「Del」ボタンをタップします。

セットを削除すると対応するリストの内容も削除されます。

現在の内容をクリアしたい場合は「Clear」ボタンをタップします。

項目がクリアされ、セットが選択されていない状態になります。



サーバ名、ディレクトリ、ログオンユーザ名に**2バイトコード文字**を入力して「Add...」「Update」ボタンをタップするとエラーメッセージが表示されます。

The screenshot shows the 'PriveteSet' dialog box with the 'Password' field selected. The 'Server' field contains 'ftp.test.co.jp'. The 'Password' field contains 'test'. There are 'OK' and 'Cancel' buttons below the password field. At the bottom, there are 'Add...', 'Update', 'Del', and 'Clear' buttons, and a 'Close' button.

パスワードのトリガーボタンを押すとパスワード入力フォームが表示されるのでパスワードを入力して「OK」ボタンをタップします。パスワードフィールドはクリップボードに対応しています。（「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。）  
漢字等の2バイトコード文字は使用できません。  
パスワード入力を中止したい場合は「Cancel」ボタンをタップします。

The screenshot shows an 'Error' dialog box with a red 'X' icon and the message: 'Can't use 2byte code characters (Kanji, etc.)'. There is an 'OK' button at the bottom.

パスワードに2バイトコード文字を入力して「OK」ボタンをタップするとエラーメッセージが表示されます。

The screenshot shows the 'PriveteSet' dialog box with the 'Password' field highlighted and containing '-Assigned-'. The 'Server' field is 'ftp.test.co.jp', 'Dir' is '/data', and 'UserID' is 'test'. The 'Connection' field is 'UsePreferencesSetting'. There are 'Add...', 'Update', 'Del', and 'Clear' buttons, and a 'Close' button.

パスワードが設定されるとトリガーボタンに「-Assigned-」と表示されます。

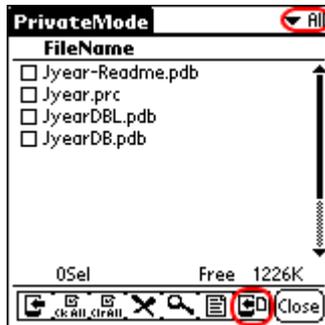
The screenshot shows the 'PriveteSet' dialog box with the 'FTP connection' sub-dialog open. The 'Connection' field is 'UsePreferencesSetting'. The sub-dialog has three options: 'Use Preferences setting' (checked), 'Active mode (Normal)', and 'Passive mode'. There are 'OK' and 'Cancel' buttons in the sub-dialog, and 'Add...', 'Update', 'Del', 'Clear', and 'Close' buttons in the main dialog.

Connection のトリガーボタンをタップすると設定フォームが表示されるので設定を変更し、「OK」ボタンをタップします。全てのセットで「Use Preferences setting」を使用すれば環境設定を変更するだけで全てのセットのモードを切りかえる事が出来ます。それ以外を選択するとそのセットでは環境設定より優先されます。うまくアップロード、ダウンロードできない場合は「Passive mode」を試してください。

The screenshot shows the 'PriveteSet' dialog box with the 'SetName' sub-dialog open. The 'Name' field contains 'test'. There are 'Save' and 'Cancel' buttons in the sub-dialog, and 'Add...', 'Update', 'Del', 'Clear', and 'Close' buttons in the main dialog.

「Add...」、「Update」をタップすると、セット名を指定するダイアログボックスが表示されます。セット名を入力して「Save」ボタンをタップすると保存されます。セット名フィールドはクリップボードに対応しています。（「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。）  
保存をキャンセルしたい場合は「Cancel」ボタンをタップします。

## リスト更新



リスト更新したいサーバセットを選択します。

全サーバセットのリストを更新したい場合は「All」を選択します。

「リスト取得」ボタンをタップすると、FTP サーバからディレクトリ最新を取得しリストを作成します。

リストは昇順にソートされます。

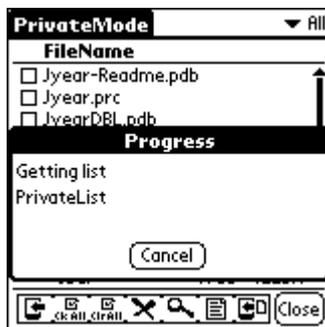
サブディレクトリには**対応していません**。

サブディレクトリが存在する場合、サブディレクトリ名もリストに加わりますが内部的にはデータとして扱われるため使用できません。

リストを取得するためには、リストのサイズ分の空きメモリが必要です。

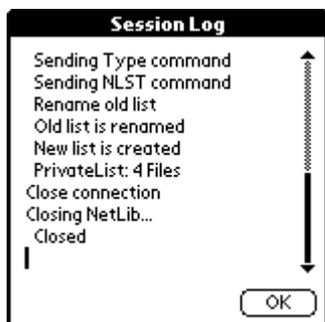
リストサイズはファイル数に依存します。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

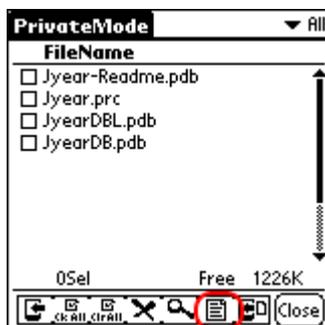


セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。

セッション中に「Cancel」ボタンをタップするとリスト取り込みがキャンセルされます。取り込み前にリストが Palm/WorkPad 上に存在する場合は取り込み前の状態に戻ります。



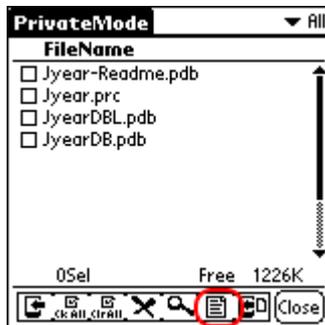
[環境設定](#)で「AutoLogDisplay..」に設定されている場合、データリスト取得が終了すると、ログが表示されます。



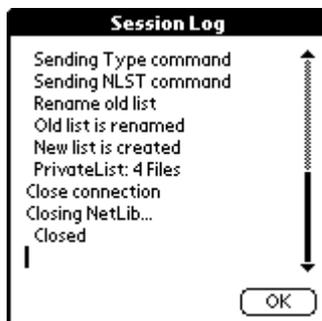
ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも[ログを表示](#)することが出来ます。

(この操作はメニューからも行うことも出来ます。)

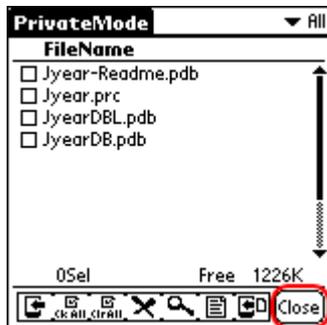
カラーデバイスの場合は、[テキスト拡張子設定](#)で設定した拡張子を持つファイルは青いテキストで、Palm DB形式の拡張子(\*.pdb、\*.prc)を持つファイルは赤いテキストで表示されます。

**ログ表示**

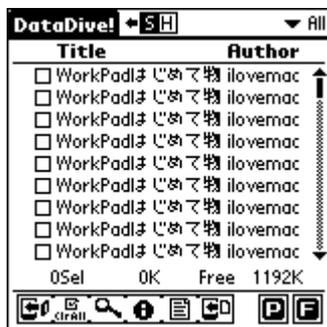
ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも表示することができます。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

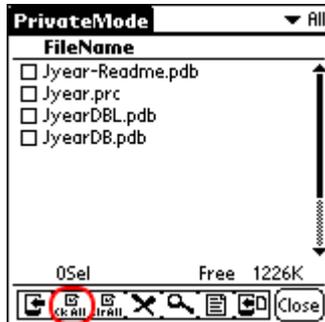


## クローズ

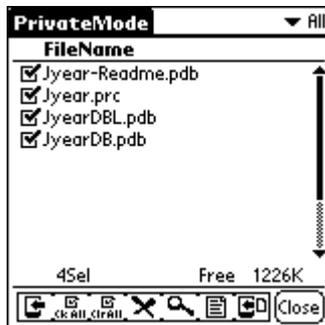


「Close」ボタンをタップすると、専用モードに戻ります。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

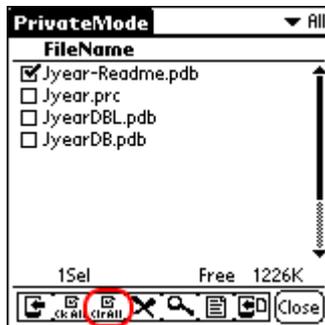


**全選択**

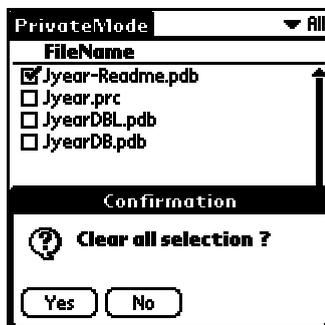
「全選択」ボタンをタップすると、全てのデータのチェックが付きます。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



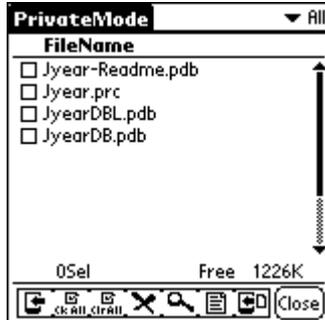
## 選択オールクリア



「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の選択状態をクリアします。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



選択クリアの確認アラートボックスが表示されるので、クリアする場合は「Yes」ボタンを、しない場合は「No」ボタンをタップします。



「Yes」ボタンをタップすると全ての選択が解除されます。

## データ取り込み

サーバセットを選択します。

特にセットを指定しない場合は「All」を選択します。

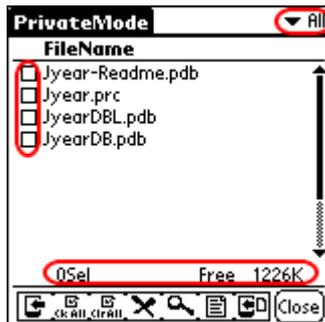
取得したいデータのチェックボックスをタップしてチェックマークを付けます。

ダウンロード時には、ファイル拡張子によって**ファイルのタイプを自動判別**します。

".prc" ".pdb"は Palm形式のDB、".txt" ".html" ".htm"はテキスト形式と判断され Doc 形式に変換されます。

テキスト形式に関しては、[テキスト形式と判断される拡張子を追加](#)することが出来ます。

それ以外の拡張子を持つファイルは**ダウンロードされません**。

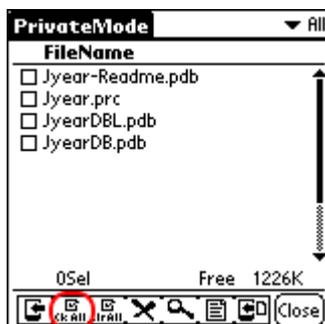


別のサーバセットに切り替えても、それまで選択されていたデータの選択状態は保持されます。

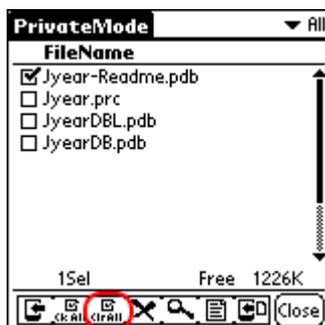
リストの下には、現在選択されているデータ数、メモリ空き容量が表示されています。

参考にして下さい。

(空き容量は現在の状態なのでリストの選択状態を変えてもリアルタイムに変化しません。)

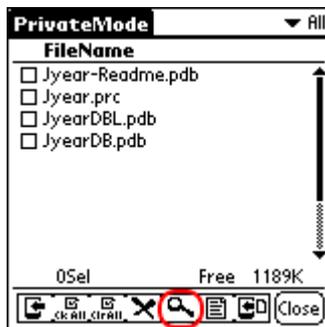


「全選択」ボタンをタップすると**全データがチェック状態**になります。(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

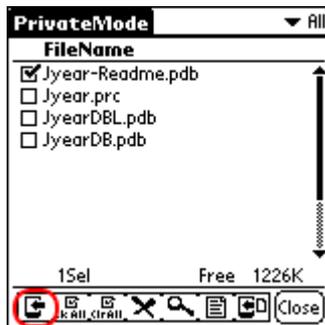


「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の**選択状態をクリア**します。

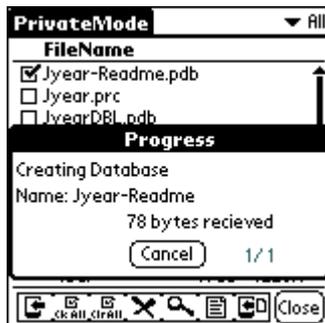
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



データは検索することが出来ます。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



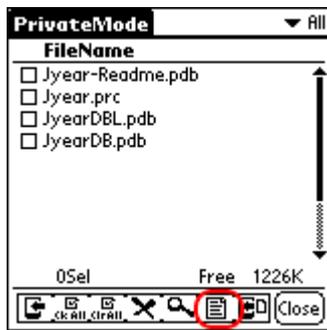
「データ取得」ボタンをタップして選択したデータをダウンロードします。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。  
 「Cancel」ボタンの横には、[現在のデータ]/[全ダウンロードデータ数]が表示されます。  
 エラーが発生した場合には、エラーデータ数も表示されます。  
 セッション中に「Cancel」ボタンをタップするとデータ取得がキャンセルされます。取得前に同名データが Palm/WorkPad 上に存在する場合は、取得前の状態に戻ります。  
 (キャンセルしたときにダウンロード中のデータのみ。)

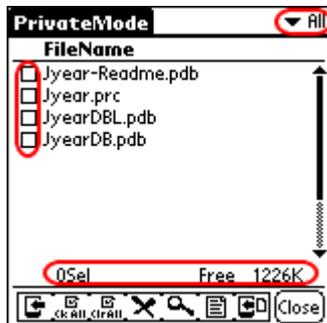


環境設定で「AutoLogDisplay.」に設定されている場合、データの取得が終了するとログが表示されます。

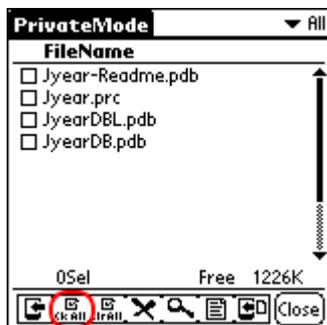


ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも [ログを表示](#)することが出来ます。  
(この操作はメニューからも行うことも出来ます。)

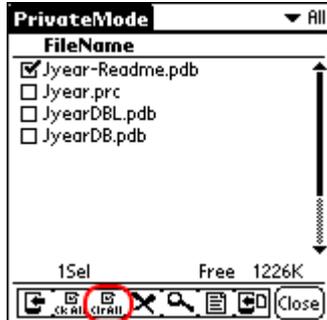
## ファイル削除



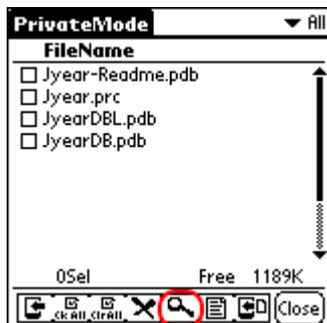
サーバセットを選択します。  
特にセットを指定しない場合は「All」を選択します。  
削除したいデータのチェックボックスをタップしてチェックマークを付けます。  
リストの下には、現在選択されているデータ数、メモリ空き容量が表示されています。  
(空き容量は現在の状態なのでリストの選択状態を変えてもリアルタイムに変化しません。)



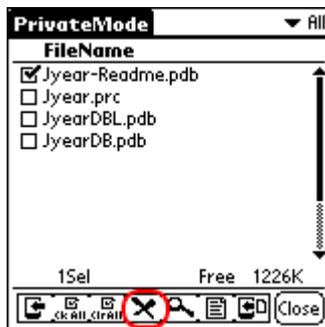
「全選択」ボタンをタップすると全データがチェック状態になります。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の選択状態をクリアします。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



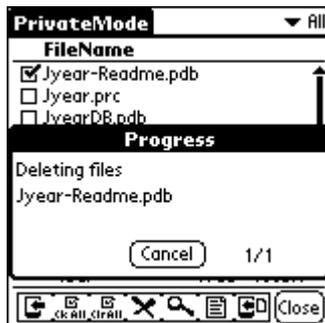
データは検索することが出来ます。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



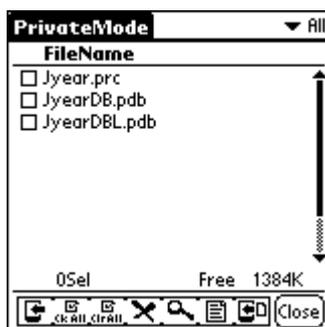
「ファイル削除」ボタンをタップして選択したデータをサーバ上から削除します。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



削除確認のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをタップすると削除のセッションが開始されます。  
 「Cancel」ボタンをタップすると削除されません。

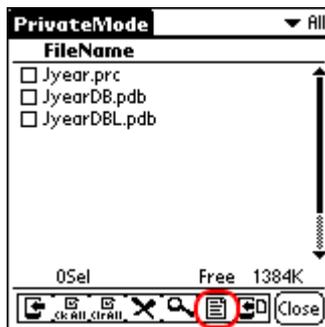


セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。  
 「Cancel」ボタンの横には、[現在のデータ]/[全ダウンロードデータ数]が表示されます。  
 エラーが発生した場合には、エラーデータ数も表示されます。  
 セッション中に「Cancel」ボタンをタップするとファイル削除がキャンセルされますがタイミングによってはサーバからファイルが削除された後にキャンセルされます。  
 ファイルの削除後、プライベートリストを更新します。  
 (この処理は、[リスト更新](#)と同一の処理です。)





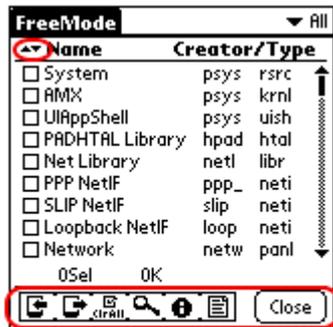
[環境設定](#)で「AutoLogDisplay.」に設定されている場合、データの取得が終了するとログが表示されます。



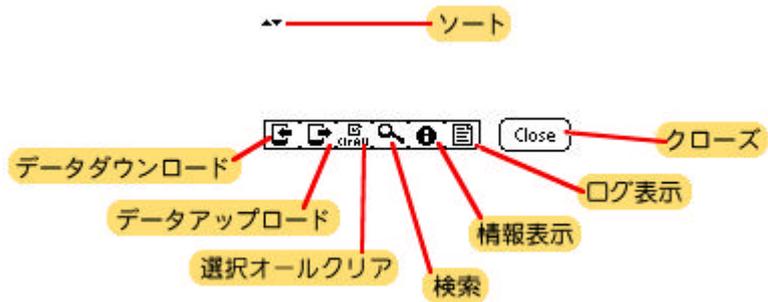
ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも[ログを表示](#)することが出来ます。  
(この操作はメニューからも行うことも出来ます。)

「フリーモード」

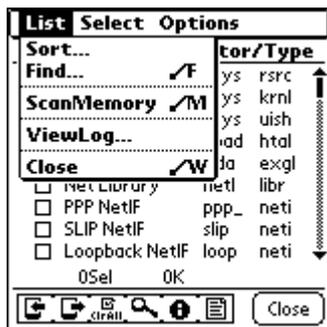
ツールボタン / ボタンで可能な操作



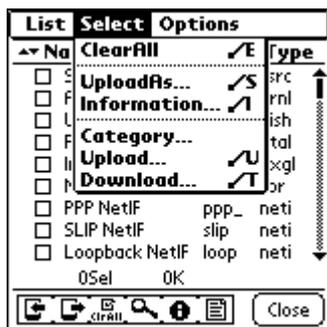
ツールボタン / ボタン



Listメニューで可能な操作



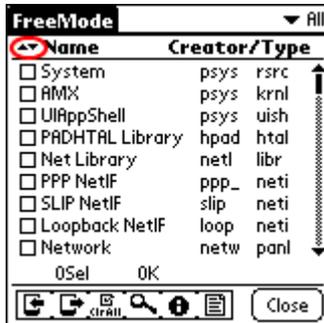
Selectメニューで可能な操作



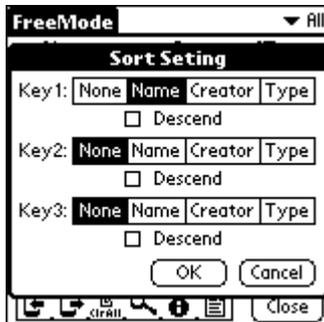
Optionsメニューで可能な操作



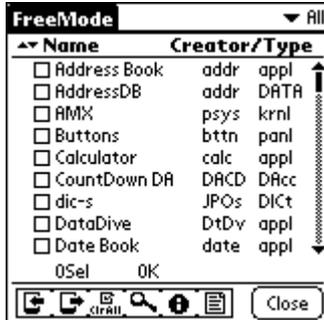
## ソート



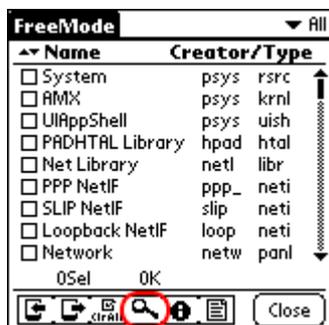
「ソート」ボタンをタップするとソート設定フォームが開きます。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



DB名、クリエイターID、タイプの組み合わせでソートする事が出来ます。  
 「Descend」にチェックを付けると降順でソートされます。  
 (日本語のDB名は正しくソートされません。)



## 検索



データは名前あるいはクリエイタ、タイプで検索することができます。  
「検索」ボタンをタップして、検索ダイアログを表示します。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



名前で検索したい場合は「Name」ボタンを、クリエイタで検索したい場合は「Creator」ボタンを、タイプで検索したい場合は「Type」ボタンを選択(反転)状態にします。

リストの選択状態に関係無く先頭から検索したい場合は

「Search from top of list」にチェックを付けます。

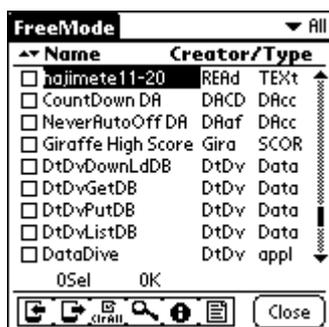
このチェックを外すと、選択状態の(データ名、クリエイタ、タイプが反転状態になっている)データがある場合は選択されているデータより後ろを、選択状態のデータが無い場合は表示されている先頭から検索します。

検索文字列を入力して「Find」ボタンをタップします。

大文字、小文字の区別は**されません**。

検索文字列フィールドはクリップボードに対応しています。

(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)

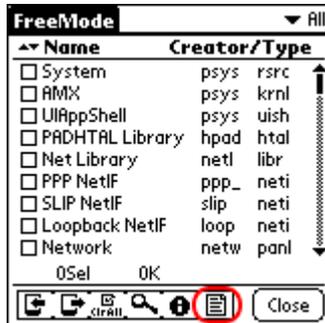


データが見つかった場合は、名前で検索した場合は名前が、  
クリエイタで検索した場合はクリエイタが、タイプで検索した場合は  
タイプが反転表示されます。



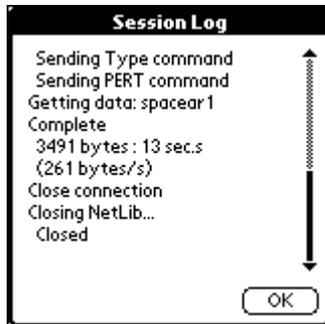
データが見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。



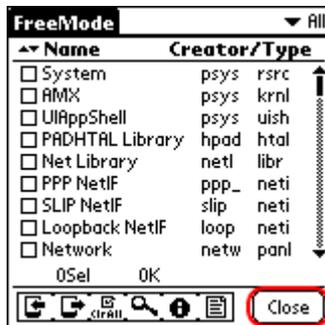
**ログ表示**

ログは専用モード、フリーモードに関わらず最後のセッション分を保存し、「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも表示することが出来ます。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



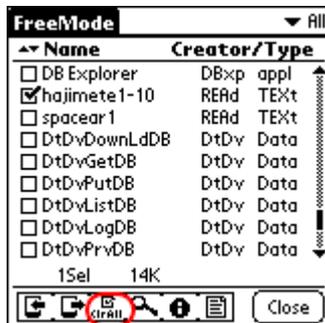
## クローズ



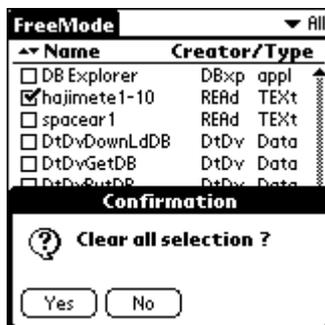
「Close」ボタンタップをすると、専用モードに戻ります。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



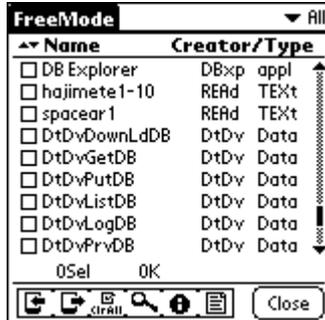
## 選択オールクリア



「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の選択状態をクリアします。  
(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



選択クリアの確認アラートボックスが表示されるので、クリアする場合は「Yes」ボタンを、しない場合は「No」ボタンをタップします。



「Yes」ボタンをタップすると全ての選択が解除されます。

## アップロード名変更

アップロード時のファイル名は自動生成され保存されています。  
自動生成はDB名を元に行われますが以下のルールに従って生成されます。

- 拡張子を付加。（リソースDBは".prc"、データDBは".pdb"）
- スラッシュ（"/"）、スペースはアンダースコア（"\_"）に置きかえ。

Doc 形式をテキスト形式に変換してアップロードする場合は自動付加された拡張子（".pdb"）が取り除かれた名前アップロードされます。

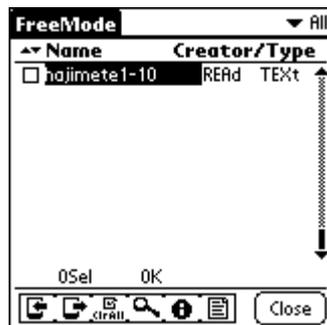
- 例 -

index.html という名前の Doc 形式DB の場合

自動生成アップロード名：index.html.pdb

「Put」のアップロード名：index.html.pdb

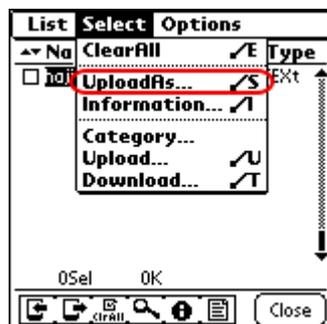
「Doc->Txt」のアップロード名：index.html



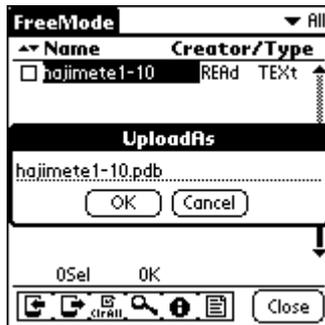
アップロード時のファイル名を変更したいデータを選択（反転）状態します。



[環境設定](#)で「AutoMemoryScan.」を OFF にしてある場合、選択したデータがメモリ上に無い場合があります。（前回スキャンした後で削除や名前を変更した場合。）そのようなデータを選択した場合メッセージが表示されます。  
[手動でスキャンを行う](#)と、このような矛盾は解消されます。



「List」/「UploadAs...」を選択してアップロード名変更フォームを表示します。



アップロード時に使用したいファイル名を入力して「OK」ボタンをタップします。

入力できるファイル名は".prc", ".pdb"を含めて最大半角40文字です。

アップロードファイル名には漢字等の2バイトコードは使用できません。

入力したファイル名にも自動生成と同じルールが適用され変換が必要なものは自動変換されます。

「Cancel」ボタンをタップするとアップロードに使用されるファイル名は変更されません。

ファイル名フィールドはクリップボードに対応しています。（「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。）



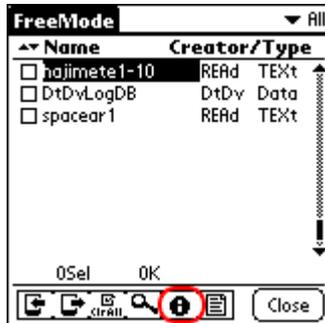
入力したファイル名に".prc", ".pdb"が含まれない場合は自動付加しますが、その結果ファイル名の長さが入力最大可能長を超えるとエラーメッセージが表示されます。

その場合は、ファイル名を短くしてください。



ファイル名に漢字等の2バイトコード文字を入力して「OK」ボタンをタップした場合は、エラーメッセージが表示されますので修正してください。

## 情報表示



リスト上の名前あるいはクリエイター、タイプを選択（反転）状態にして「情報表示」ボタンをタップするとデータの情報を表示することが出来ます。

（この操作はメニューから行うことも出来ます。）

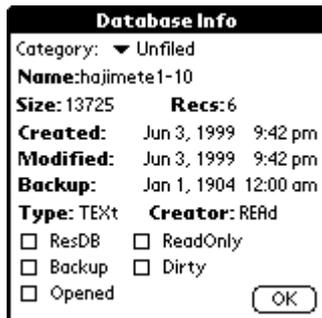


[環境設定](#)で「AutoMemoryScan.」を OFF にしてある場合、選択したデータがメモリ上に無い場合があります。

（前回スキャンした後で削除や名前を変更した場合。）

そのようなデータを選択した場合メッセージが表示されます。

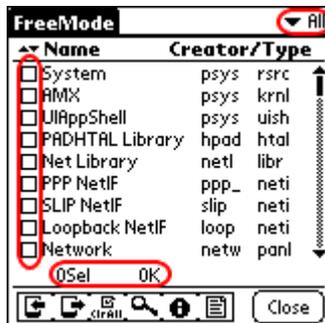
[手動でスキャンを行う](#)と、このような矛盾は解消されます。



「Category」リストからカテゴリを選択することによりデータのカテゴリを変更することが出来ます。

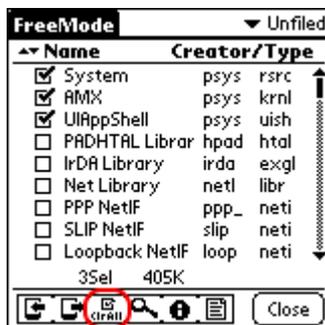
複数データの[カテゴリを一括変更する](#)方法も用意されています。

## カテゴリー一括変更

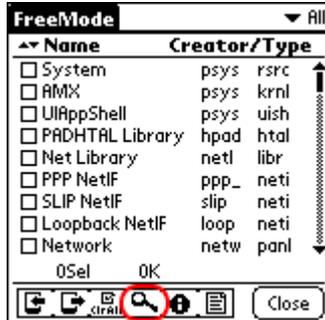


複数のデータのカテゴリを一括変換出来ます。  
 カテゴリを選択します。  
 特にカテゴリを指定しない場合は「All」を選択します。  
 カテゴリを変更したいデータのチェックボックスをタップして  
 チェックマークを付けます。

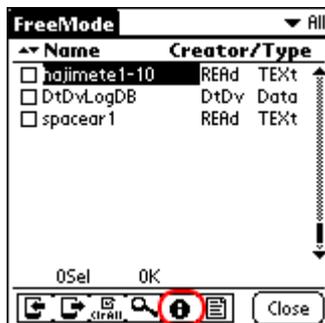
リストの下には、現在選択されているデータ数、  
 選択データの合計サイズが表示されています。



「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の[選択状態をクリア](#)  
 します。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



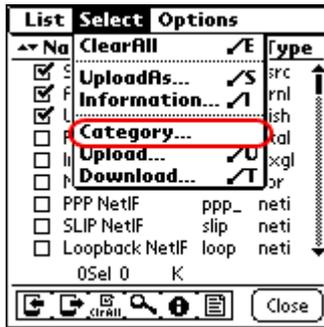
データは名前あるいはクリエイター、タイプで[検索する](#)ことが出来ます。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



リスト上の名前あるいはクリエイター、タイプを選択(反転)状態にして  
 「情報表示」ボタンをタップしてデータの[情報を表示する](#)ことが  
 出来ます。  
 (この操作はメニューから行うことも出来ます。)



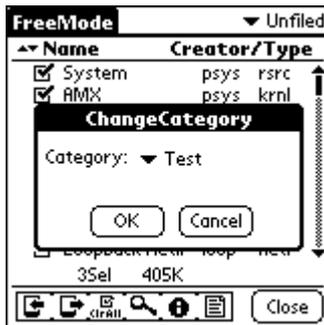
[環境設定](#)で「AutoMemoryScan.」を OFF にしてある場合、  
 選択したデータがメモリ上に無い場合があります。  
 (前回スキャンした後で削除や名前を変更した場合。)  
 そのようなデータを選択した場合メッセージが表示されます。  
[手動でスキャンを行う](#)と、この様な矛盾は解消されます。



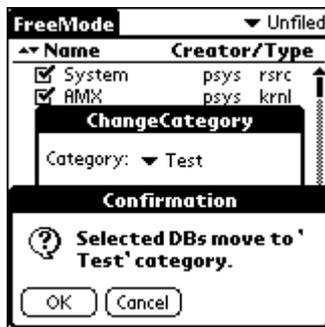
メニュー「Select」/「Category...」を選択して「ChangeCategory」フォームを開きます。



「Category」リストからデータに割り当てたいカテゴリを選択します。

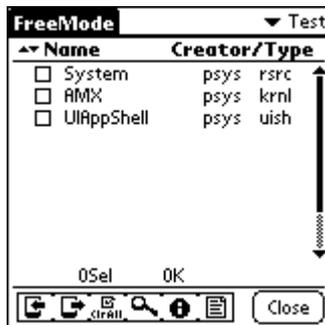


「OK」ボタンをタップすると確認メッセージが表示されます。  
「Cancel」ボタンをタップするとカテゴリの変更は行われません。



「OK」ボタンをタップすると、チェックを付けたデータに選択したカテゴリが割り当てられます。

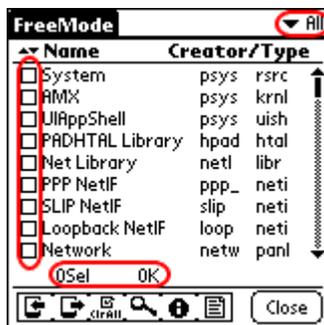
「Cancel」ボタンをタップするとカテゴリの変更は行われません。



## データアップロード

カテゴリを選択します。  
特にカテゴリを指定しない場合は「All」を選択します。  
アップロードしたいデータのチェックボックスをタップして  
チェックマークを付けます。  
別のカテゴリに切り替えても、それまで選択されていた  
データの選択状態は保持されます。

アップロード時のファイル名は自動生成され保存されています。  
自動生成はDB名を元に行われますが以下のルールに従って  
生成されます。



- 拡張子を付加。（リソースDBは".prc"、データDBは".pdb"）
- スラッシュ（"/"）、スペースはアンダースコア（"\_"）に置きかえ。

Doc 形式をテキスト形式に変換してアップロードする場合は  
自動付加された拡張子（".pdb"）が**取り除かれた名前**で  
アップロードされます。

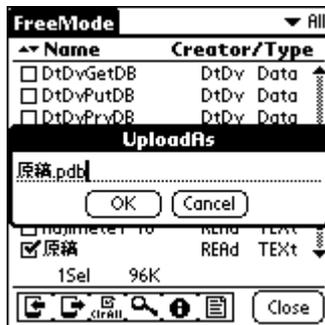
- 例 -

index.html という名前の Doc 形式DB の場合  
自動生成アップロード名：index.html.pdb  
「Put」のアップロード名：index.html.pdb  
「Doc->Txt」のアップロード名：index.html

リストの下には、現在選択されているデータ数、  
選択データの合計サイズが表示されています。



[環境設定](#)で「AutoMemoryScan.」を OFF にしてある場合、  
選択したデータがメモリ上に無い場合があります。  
（前回スキャンした後で削除や名前を変更した場合。）  
そのようなデータを選択した場合メッセージが表示されます。  
[手動でスキャンを行う](#)と、この様な矛盾は解消されます。



漢字等の **2バイトコード文字** を含む名前のデータにチェックを付ると **アップロード名変更** フォームが表示されるので、適切な名前に変更して

「OK」ボタンをタップします。

ファイル名フィールドはクリップボードに対応しています。

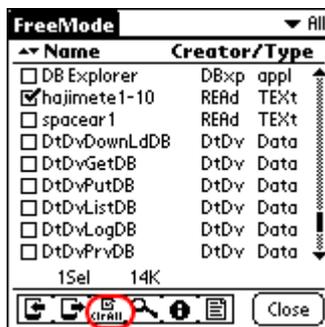
(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)

変更されたアップロード名は保存されるので次回以降は

アップロード名変更フォームは表示されません。

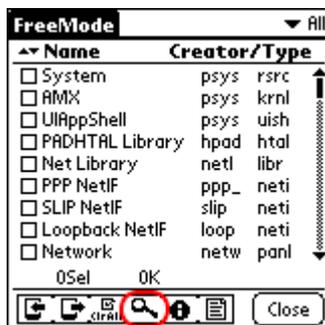
(当該DBが削除された場合は保存されているアップロード名も削除されます。)

「Cancel」ボタンをタップすると、チェックが**解除**されます。



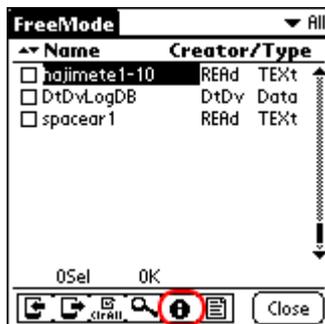
「選択オールクリア」ボタンをタップすると、現在の**選択状態をクリア** します。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



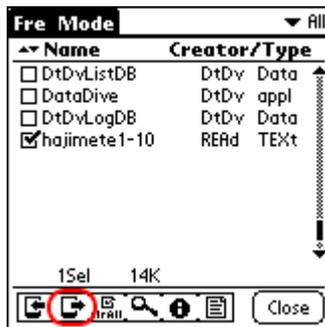
データは名前あるいはクリエイター、タイプで**検索**することが出来ます。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



リスト上の名前あるいはクリエイター、タイプを選択(反転)状態にして「情報表示」ボタンをタップしてデータの**情報を表示**することが出来ます。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)



「データアップロード」ボタンをタップして選択したデータをアップロードします。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

サーバ名、ディレクトリ名、ログオンユーザ名を入力します。

漢字等の2バイトコード文字は使用できません。

サーバ名には「ftp://」は付けずにサーバ名のみを入力してください。

サーバ名、ディレクトリ名、ログオンユーザ名 フィールドはクリップボードに対応しています。

(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)

パスワードは、トリガーボタンをタップすると入力フォームが開きます。

Connection は、トリガーボタンをタップすると設定フォームが開きます。

パーミッションは、トリガーボタンをタップすると設定フォームが開きます。

(通常はパーミッション指定の必要はありません。)

これらの情報はセットとして保存できます。

パスワードトリガーボタンはパスワードが設定されている場合は

「-Assigned-」、設定されていない場合は「-Unassigned-」が表示されます。

トリガーボタンをタップすると設定フォームが開きます。

Connection は、FTPサーバへのデータ転送方法の設定です。

規定値は「UserPreferencesSetting」(環境設定の値を使用する)です。

パーミッショントリガーボタンはパーミッションが指定された場合は

Unix形式のパーミッション文字列、指定が行われていない場合は

「-NOP-」が表示されます。

パーミッションについて知識が無い場合は指定を行わないで下さい。

このフォームが開いたときにデフォルトで特定セットを選択状態にするためにはそのセットの「Default set」をチェックして保存します。

保存するには「Add...」ボタンをタップします。

保存したセットは「Set」リストから選択できます。

保存済みセットの内容を変更したい場合は、「Set」リストから

変更したいセットを選択して項目の内容を変更後「Update」ボタンを

タップします。

選択中のセットを削除したい場合は「Del」ボタンをタップします。

現在の内容をクリアしたい場合は「Clear」ボタンをタップします。

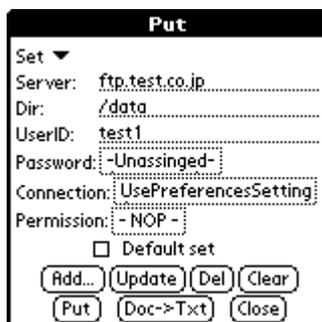
項目がクリアされ、セットが選択されていない状態になります。

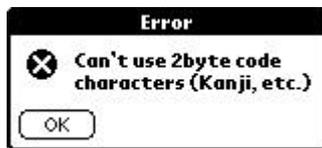
「Put」ボタンをタップすると、指定されたデータを Palm形式で

アップロードします。

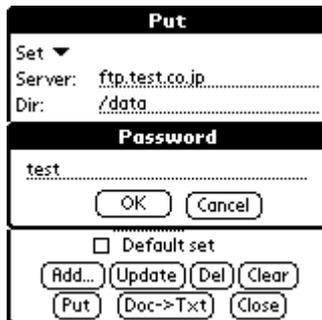
「Doc->Txt」ボタンをタップすると、指定されたデータを テキスト形式で

アップロードします。(圧縮 Doc DB にも対応しています。)

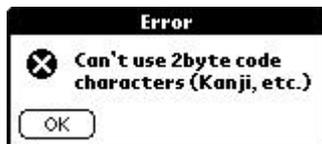




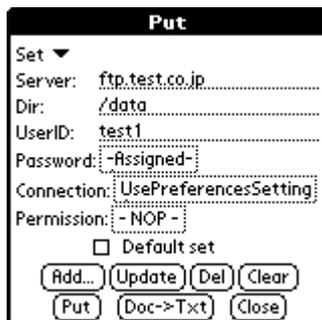
サーバ名、ディレクトリ、ログオンユーザ名に**2バイトコード文字**を入力して「Add...」「Update」「Put」「Doc->Txt」ボタンをタップするとエラーメッセージが表示されるので修正してください。



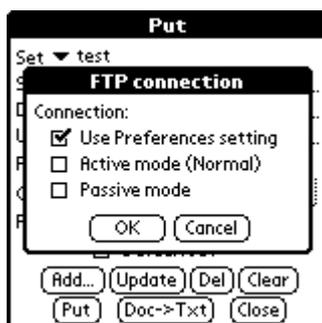
パスワードのトリガーボタンをタップするとパスワード入力フォームが表示されるのでパスワードを入力して「OK」ボタンをタップします。パスワードフィールドはクリップボードに対応しています。（「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。）  
**漢字等の2バイトコード文字**は使用できません。  
パスワード入力を中止したい場合は「Cancel」ボタンをタップします。



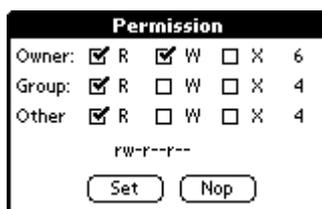
パスワードに**2バイトコード文字**を入力して「OK」ボタンをタップするとエラーメッセージが表示されるので修正してください。



パスワードが設定されるとトリガーボタンに「-Assigned-」と表示されます。



Connection のトリガーボタンをタップすると設定フォームが表示されるので設定を変更し、「OK」ボタンをタップします。  
全てのセットで「Use Preferences setting」を使用すれば**環境設定**を変更するだけで全てのセットのモードを切りかえる事が出来ます。それ以外を選択するとそのセットでは環境設定より優先されます。うまくアップロードできない場合は「Passive mode」を試してください。



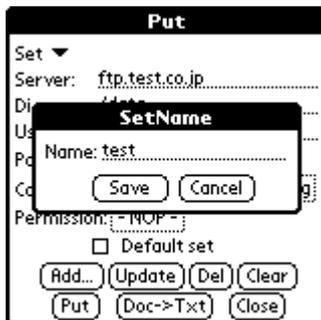
パーミッショントリガーボタンをタップするとパーミッション指定フォームが表示されるのでパーミッションを指定します。オーナー、グループ、他のユーザに対してそれぞれ書き込み、読み取り、実行の権限を設定して「Set」ボタンをタップします。パーミッション指定を行わない場合は「Nop」ボタンをタップします。



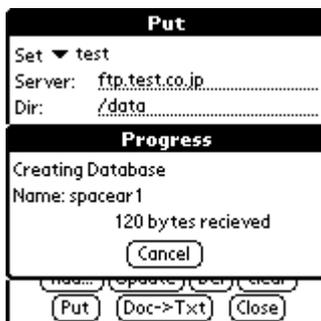
チェックを付けたデータすべてが **Doc 形式ではない**場合  
「Doc->Txt」ボタンをタップするとエラーメッセージが表示されます。



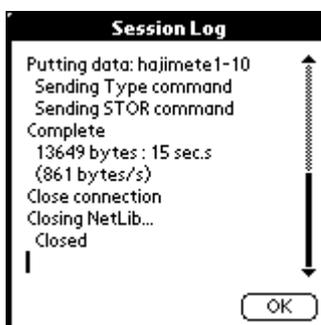
チェックを付けたデータ中に **Doc 形式ではない**ものが含まれている場合  
「Doc->Txt」ボタンをタップすると警告メッセージが表示されます。  
「OK」ボタンをタップすると **Doc 形式のデータのみ**がアップロードされます。



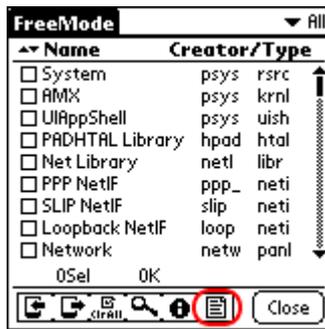
「Add...」、「Update」をタップすると、セット名を指定するダイアログボックスが表示されます。  
セット名を入力して「Save」ボタンをタップすると保存されます。  
セット名フィールドはクリップボードに対応しています。  
(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)  
保存をキャンセルしたい場合は「Cancel」ボタンをタップします。



**Palm 形式のデータ**をアップロードする場合は「Put」ボタンをタップします。  
**Doc 形式のデータ**をテキスト形式に変換してアップロードする場合は「Doc->Txt」ボタンをタップします。  
「Put」、「Doc->Txt」ボタンをタップすると、データのアップロードを開始します。  
セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。  
「Cancel」ボタンの横には、[現在のデータ]/[全アップロードデータ数]が表示されます。  
エラーが発生した場合には、エラーデータ数も表示されます。  
セッション中に「Cancel」ボタンをタップするとアップロードがキャンセルされます。アップロード前に同名データがサーバ上に存在する場合は、アップロード前の状態に戻ります。  
(キャンセルした時にアップロード中のデータのみ。)

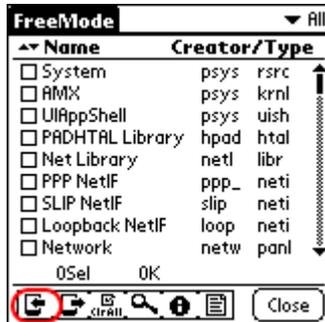


[環境設定](#)で「AutoLogDisplay.」に設定されている場合、データのアップロードが終了するとログが表示されます。



ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも[ログを表示](#)することが出来ます。  
(この操作はメニューからも行うことも出来ます。)

## データダウンロード



「ダウンロード」ボタンをタップします。

(この操作はメニューから行うことも出来ます。)

ダウンロード時には、ファイル拡張子によって**ファイルのタイプを自動判別**します。

".prc" ".pdb"はPalm形式のDB、".txt" ".html" ".htm"はテキスト形式と判断されDoc形式に変換されます。

テキスト形式に関しては、[テキスト形式と判断される拡張子を追加](#)することが出来ます。

それ以外の拡張子を持つファイルは**ダウンロードされません**。

サーバの種類(FTP, HTTP)、サーバ名、ディレクトリ名、ファイル名、ログオンユーザ名を入力します。

**漢字等の2バイトコード文字**は使用できません。

サーバ名には「ftp://」「http://」は**付けずにサーバ名のみ**を入力してください。

サーバ名、ディレクトリ名、ファイル名、ログオンユーザ名フィールドはクリップボードに対応しています。

(「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。)

HTTPを選択した場合は、設定する必要が無い項目は非表示になります。

パスワードは、トリガーボタンをタップすると入力フォームが開きます。

パスワードトリガーボタンはパスワードが設定されている場合は

「-Assigned-」、設定されていない場合は「-Unassigned-」が表示されます。

Char-setは、ダウンロードファイルがテキスト形式の場合の設定です。

規定値は**環境設定**で指定したものになりますが、このセッション中のみChar-setを環境設定と異なるものを使用する場合変更します。

Auto(自動判定)、JIS、SJIS、EUCから選択できます。

Connectionは、FTPサーバからのデータ転送方法の設定です。

規定値は「UserPreferencesSetting」(環境設定の値を使用する)です。

トリガーボタンをタップすると設定フォームが開きます。

この情報はセットとして保存できます。

保存するには「Add...」ボタンをタップします。

保存したセットは「Set」リストから選択できます。

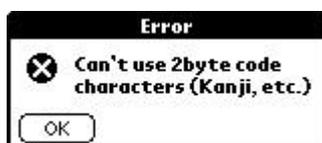
保存済みセットの内容を変更したい場合は、「Set」リストから変更したいセットを選択して項目の内容を変更後「Update」ボタンをタップします。

選択中のセットを削除したい場合は「Del」ボタンをタップします。

現在の内容をクリアしたい場合は「Clear」ボタンをタップします。

項目がクリアされ、セットが選択されていない状態になります。

「Get」ボタンをタップすると、指定されたデータをダウンロードします。



サーバ名、ディレクトリ、ファイル名、ログオンユーザ名に

**2バイトコード文字**を入力して「Add...」「Update」「Get」ボタンをタップするとエラーメッセージが表示されます。

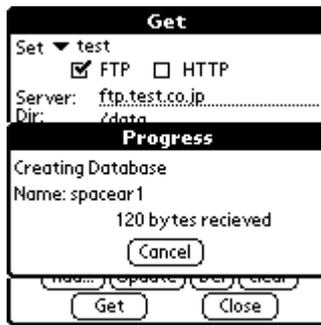
パスワードのトリガーボタンをタップするとパスワード入力フォームが表示されるのでパスワードを入力して「OK」ボタンをタップします。パスワードフィールドはクリップボードに対応しています。（「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。）  
漢字等の2バイトコード文字は使用できません。  
パスワード入力を中止したい場合は「Cancel」ボタンをタップします。

パスワードに2バイトコード文字を入力して「OK」ボタンをタップするとエラーメッセージが表示されます。

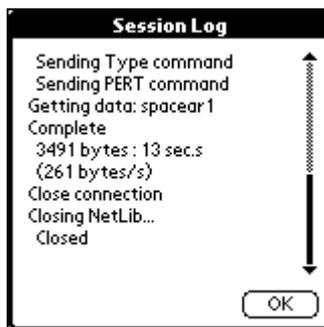
パスワードが設定されるとトリガーボタンに「-Assigned-」と表示されます。

Connection のトリガーボタンをタップすると設定フォームが表示されるので設定を変更し、「OK」ボタンをタップします。全てのセットで「Use Preferences setting」を使用すれば環境設定を変更するだけで全てのセットのモードを切りかえる事が出来ます。それ以外を選択するとそのセットでは環境設定より優先されます。うまくダウンロードできない場合は「Passive mode」を試してください。

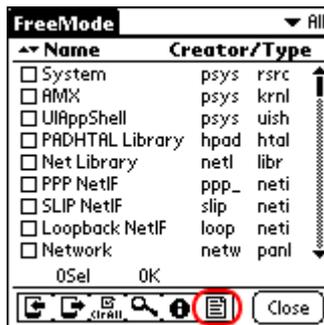
「Add...」、「Update」をタップすると、セット名を指定するダイアログボックスが表示されます。セット名を入力して「Save」ボタンをタップすると保存されます。セット名フィールドはクリップボードに対応しています。（「Edit」メニュー、ショートカットを使用できます。）  
保存をキャンセルしたい場合は「Cancel」ボタンをタップします。



「Get」ボタンをタップすると、データのダウンロードを開始します。セッション中は、プログレスダイアログが表示されます。セッション中に「Cancel」ボタンをタップするとダウンロードがキャンセルされます。取得前に同名データが Palm/WorkPad 上に存在する場合は、取得前の状態に戻ります。（キャンセルした時にダウンロード中のデータのみ。）



環境設定で「AutoLogDisplay.」に設定されている場合、データの取得が終了するとログが表示されます。



ログはモードに関わらず最後のセッション分を保存し「ログ表示」ボタンをタップすることでいつでも [ログを表示](#) することが出来ます。（この操作はメニューからも行うことも出来ます。）

## ● 付録

☞ DataDive! を使用すると以下のデータベースが作成されます。

データベース名	備考
DtDvListDB	専用モードのデータリスト
DtDvMemDB	フリーモードのリスト
DtDvGetDB	フリーモードのダウンロード用セット情報
DtDvPutDB	フリーモードのアップロード用セット情報
DtDvPrvSetDB	プライベートモードのサーバ情報
DtDvPrvDB	プライベートモードのリスト
DtDvLogDB	セッションログ
DtDvAsTextDB	テキストファイルとして扱う拡張子情報
DtDvTmp	テンポラリDB（自動的に削除されます。） DataDive! がセッション中にクラッシュすると残る場合がありますが、次回起動時に削除されます。
DtDvUpNames	専用モードリスト更新時の差分データファイル名情報 自動的に削除されます。
DtDv_[数字]	専用モードリスト更新時の差分データ 自動的に削除されます。
DtDvDownLdDB	専用モードリスト更新時、ダウンロード済み ステータス復元用DB 自動的に削除されます。

☞ DataDive! でアップロード中にサーバに作成されるファイル。

ファイル名	備考
DtDvTmp	テンポラリファイル（セッション終了時に自動的に削除されます。） DataDive! がセッション中にクラッシュするとサーバに残る場合があります。

## 更新履歴

ベータ版（限定公開）		
1999年7月16日	beta1a	・専用モードのみのバージョン
1999年8月7日	beta2a	<p>[機能追加]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セッション中のキャンセルを可能に</li> <li>・専用モードでHTTPサーバからのデータ取得機能追加</li> <li>・専用モードで取り込んだ事のあるデータが分かるように</li> <li>・データ検索時に選択データ以降を検索可能に</li> <li>・専用モードのカテゴリを変更</li> <li>・フリーモードを追加</li> </ul>
1999年8月14日	beta2b	<p>[バグ修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーモードでのセット選択、保存、変更を繰り返すとリセットが必要になるバグを修正</li> </ul> <p>[機能追加]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーモードのダウンロードをHTTPサーバからも可能に</li> </ul>
1999年8月16日	beta2c	<p>[バグ修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用モード検索ダイアログオープン時に致命的エラーになる場合があるバグを修正</li> <li>・その他表示上の細かいバグの修正</li> </ul> <p>[機能追加]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両モード検索時のプログレスバー表示を追加</li> </ul>
	beta2d	<p>[バグ修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リストの下の方のデータを取得しようとするサーバ接続まで時間がかかるバグを修正</li> </ul>
1999年8月18日	beta2e	<p>[機能追加]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバからの応答を待つ間にもセッションのキャンセルを可能に</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイズを小さくするためのコードの見直し</li> </ul>
1999年8月31日		<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限定ベータテスト終了</li> </ul>

正式版		
1999年9月4日	ver 1.0	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セッション時間短縮などベータ版のコード見直し</li> </ul>
1999年9月9日	ver 1.01	<p>[バグ修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューのスペルミスを修正</li> </ul>
1999年9月10日	ver 1.02	<p>[バグ修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録のバグを修正</li> </ul>
1999年9月11日	ver 1.03	<p>[バグ修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準ランチャーでの情報表示で「不明」/「Unknown」と表示されてしまう現象を修正</li> </ul>
1999年10月22日	ver 2.00	<p>[バグ修正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更新の必要が無い状態でデータリスト更新を行うと Fatal Exeption が発生してリセットが必要になるバグの修正</li> <li>・over-locked エラーの修正</li> <li>・その他バグ修正</li> </ul> <p>[機能追加]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートモードを追加</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザインターフェイスの見直し（パスワード入力部分）</li> </ul>

1999年11月 8日	ver 2.10	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーモードでダイアルアップに失敗した場合にログDBをクローズしていなかったバグを修正</li> <li>・表示上のバグを修正</li> </ul> <p><b>[機能追加]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーモードのリストをDBに保存するように変更</li> <li>・フリーモードのアップロード時に使用するファイル名を指定出来る機能を追加 (デフォルトファイル名は自動生成、拡張子自動付加、スラッシュ "/"、スペース " " をアンダースコア "_" に変換)</li> <li>・上記自動生成ファイル名に2バイト文字が含まれているファイルをアップロードしようとした場合にファイル名指定フォームが開く機能を追加(チェックマークを付けるタイミング)</li> <li>・フリーモードに Doc 形式からテキストに変換してのアップロード、テキストファイルを Doc 形式に変換してのダウンロード機能を追加</li> <li>・サーバ名、フォルダ名、ファイル名、ユーザ名、パスワード等に2バイト文字を使用できないように変更</li> <li>・セッション中のプログレスフォームに現在処理中のデータの個数及び処理に失敗したデータ数の表示を追加</li> </ul> <p><b>[その他]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダウンロード、アップロード処理の見直し及びセッション中のキャンセル処理の見直し</li> </ul>
1999年12月15日	ver 2.20	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーモードでフラッシュROM上のデータをアップロード出来ないバグを修正</li> <li>・表示上の不具合修正</li> </ul> <p><b>[機能追加]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用モードのリスト更新を全リストダウンロード型ではなく差分データダウンロード型に変更</li> <li>・フリーモードのアップロードにパーミッション指定機能追加</li> <li>・フリーモードのリスト表示にソート機能を追加</li> <li>・フリーモードのリスト表示で FlashPro がインストールしてあり動作可能な状態の場合、データがフラッシュROM上に有るかどうか分かるように表示</li> <li>・プライベートモードのリストを名前順でソートするように変更</li> <li>・プライベートモードにサーバ側ファイル削除機能追加</li> </ul>

1999年12月16日	ver 2.21	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用モードのリスト更新のバグを修正</li> </ul>
2000年1月22日	ver 2.30	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全モードの検索時プログレスバーの表示上のバグを修正</li> <li>・一部のHTTPサーバからデータをダウンロードできないバグを修正</li> <li>・FTPサーバセッション中のエラーチェックを一部変更</li> <li>・プライベートモードのリスト更新時にファイル数が多い場合、全てのファイルがリストに追加されないバグを修正</li> <li>・フリーモードのアップロード、ダウンロードセット削除時にセットが選択されていない場合にリセットが必要になるエラーが発生するバグの修正</li> </ul> <p><b>[機能追加]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用モードにダウンロード済みデータ表示/非表示切替機能追加</li> <li>・専用モードのリスト再取り込み時に、ダウンロード済みかどうかの情報を復元するように変更 (それまでの更新パターンによっては100% 復元できない場合もあります。)</li> <li>・プライベートモードを複数サーバに対応</li> <li>・フリーモードをカテゴリに対応</li> <li>・フリーモードのソートで日本語OSの場合は日本語名DBも正しくソートされるように変更</li> <li>・フリーモードのフォームオープン時のスキャン実行ON/OFFを初期設定で指定可能に(手動実行をメニューに追加)</li> <li>・フリーモード、プライベートモードの表示状態も保存、次回利用時に復元するように変更</li> </ul> <p><b>[その他]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メニュー構成を変更</li> <li>・全モードのチェックボックス用列幅を拡張</li> </ul>
2000年1月28日	Ver 2.31	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーモードでデータにカテゴリを適用して「All」以外のカテゴリを選択して表示した場合、アップロード名変更で選択したデータとは異なるデータを参照してしまうバグを修正</li> </ul>

2000年2月5日	ver 2.40	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期設定で「AutoMemoryScan」を OFF にしてあるとアップロード、カテゴリー括変換等でエラーが出てリセットが必要になるバグの修正</li> </ul> <p><b>[機能追加]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期設定で「AutoMemoryScan」をOFF にしてある場合、フリーモードでのデータ選択時、情報表示選択時、アップロード名変更時にデータがメモリ上に存在するかどうかチェックする機能を追加</li> <li>・ダウンロード時にファイル拡張子によりファイルタイプを自動判別するように変更。(Palm形式/テキスト)</li> <li>・テキストファイルを Doc 形式でダウンロードする際のキャラクタコード自動判定及び変換機能を追加。(JIS-&gt;SJIS、EUC-&gt;SJIS)</li> </ul>
2000年3月6日	ver 2.41	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストファイル拡張子で設定してある最後のものが認識できないバグを修正</li> <li>・改行コードが CR のみのテキストファイルをダウンロードしようとするエラーになるバグを修正</li> </ul> <p><b>[その他]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HTTP サーバに GET のリクエストをするときに User-Agent を付加</li> </ul>
2000年6月29日	ver 2.50	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスト差分ファイル数が多い場合、全てのファイルを取得できないバグを修正</li> <li>・更新パターンによっては、前回リスト更新が途中で失敗した場合の続きからの更新が失敗するバグを修正</li> </ul> <p><b>[機能追加]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FTP 接続で Passive mode をサポート</li> </ul> <p><b>[その他]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスト差分ファイルの形式を変更</li> <li>・リスト再取り込みの際のダウンロード済みステータスの復旧をより正確に行うように改良</li> <li>・フリーモード Get設定で HTTP 選択時、設定不要な項目は非表示にするように変更</li> <li>・フリーモード Put 「Doc-&gt;Txt」時の転送モードを ASCII から IMAGE に変更</li> <li>・フリーモード、プライベートモードでテキストファイルをダウンロードする時の転送モードを ASCII から IMAGE に変更</li> </ul>

2000年12月15日	Ver 2.60	<p><b>[機能追加]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回データリスト取得時にマージ済みリストが存在する場合はそのファイルからダウンロードを開始するように変更（マージ済みリストは月1回程度作成する予定。）</li> </ul> <p><b>[その他]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OS 3.3 以上に対応(データリスト取り込みは設定に関係無く Passive モードで行います。)</li> <li>・カラーデバイスに対応</li> </ul>
2000年12月21日	Ver 2.61	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JFile 形式のファイルをダウンロード中にエラーが発生するバグを修正</li> <li>・マージ済みリスト取り込み処理のバグ修正</li> <li>・その他マイナーバグ修正</li> </ul>
2001年1月3日	Ver 2.62	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートモードフォームオープン時のメモリ関係のバグを修正</li> <li>・各モードのスクロール時のバグ修正</li> </ul>
2001年1月8日	Ver 2.63	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更新ファイル数を誤って認識する事があるバグを修正</li> <li>・リスト更新が失敗した場合の次回開始レコードを誤って記録するバグを修正</li> </ul> <p><b>[その他]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストファイルダウンロード時のバッファあふれに対応</li> <li>・パッシブモード時のポート番号上限を変更</li> <li>・サーバからデータを受け取る場合のポートクローズ手順を変更</li> </ul>
2001年1月13日	Ver 2.64	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストファイルダウンロード時のレコードリリース忘れを修正(QuickWordでオープンするとエラーになる現象が解消)</li> </ul>
2001年5月16日	Ver 2.65	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスト更新結果保存のバグ修正</li> </ul>

2003年4月6日	Ver 2.70	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・専用モードでダウンロード済みデータ非表示設定の場合、カテゴリ切替を行った際にスクロールバーが正しく表示されないバグの修正</li><li>・専用モードでダウンロード済みデータ非表示設定の場合、正しく検索されないバグの修正</li></ul> <p><b>[仕様変更]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・リスト取込方式を変更</li><li>・環境設定からE-Mailアドレスを削除</li><li>・各モードでの現在の位置からの検索開始位置を変更</li></ul> <p><b>[その他]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各モードでのリストスクロールを若干高速化</li><li>・専用モードでの検索を少々高速化</li><li>・その他諸々、気持ち高速化</li></ul>
2003年4月8日	Ver 2.71	<p><b>[バグ修正]</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・専用モードでリストが空のカテゴリを選択すると Fatal Error が発生するバグを修正</li></ul>

### ☞ Mocha W32 PPP について

DataDive!旧バージョンでテストに使用したのは Mocha W32 PPP ver 3.02 です。古いバージョンの Mocha W32 PPP では DataDive! の一部機能が正常に動作しません。作者環境では動作を確認しましたが、Mocha W32 PPP での動作保証はいたしません。現在は、Mocha W32 PPP を使用してのテストは行っておりません。

### ☞ 免責その他

著作権は作者に帰属します。  
著作権者は、このソフトウェアの使用により発生した問題に対しては如何なる責任も負わないものとします。

バグおよび不具合を発見した場合は E-Mail でお知らせください。  
ご意見、ご要望もお気軽にお寄せ下さい。

T.U (薄井 智雄)

E-Mail : thunderwing@muc.biglobe.ne.jp

作者ホームページ

[T.U's place](#)